

科目区分	統合分野			科目番号	1305	曜日時間	通年
授業科目	在宅看護論実習						
単位数	2 単位	時間	90 時間	開講時期	3年次	授業形態	臨地実習
担当教員	東 直子						
授業目的	地域で生活しながら療養している療養者とその家族を理解し、生活の場で展開される看護の実際を学ぶ。						
中 核	継続看護						
授業目標	1. 地域で生活しながら療養している療養者とその家族を理解する。 2. 療養者とその家族の状況に応じて、生活の場で展開される看護を理解する。 3. 地域での療養生活を支援する社会資源とチームケアの実際を理解する。 4. 継続看護の必要性と看護師の役割を考察する。						
授業の内容と方法	日	授業内容	授業方法	時間	担当	備考	
	12日間	オリエンテーション ・臨地実習における留意点 ・記録指導 ・技術指導 I. 在宅看護の対象 地域で生活しながら療養する対象とその家族 II. 在宅看護の実際 生活の場で展開される援助 訪問看護ステーションの目的・役割・機能 III. 在宅支援の実際 地域包括支援センターの目的・役割・機能 地域での療養を支えるシステム IV. 保健・医療・福祉の連携および協働の実際 V. 継続看護の実際	臨地実習	90	各担当教員	訪問看護ステーション2週間・地域包括支援センター1週間	
終了後課題	「継続看護の重要性と看護師の役割」のテーマで1200字レポート提出						
評価計画方法	臨地実習の援助を総合的に評価表で評価						
テキスト参考図書	既習したすべてのテキスト						
実務歴有	看護師・保健師：病院勤務 9年 看護教員：学校勤務 2年						
講義への反映	看護師としての経験を活かし、状況に即した実習を展開する						
備考							